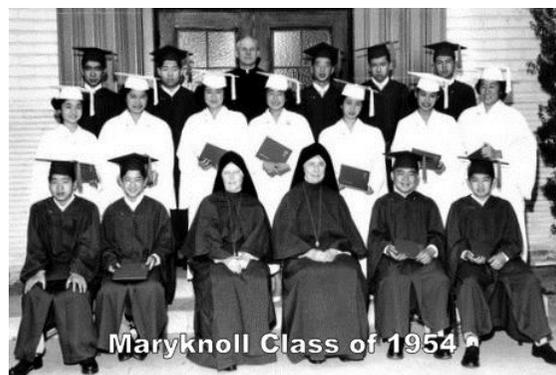


当教会の歴史

カリフォルニアにおける、初めての日本語によるミサは1912年のクリスマスの日、アルバートブレトン神父によって、ジャクソン通り711番の開拓地の聖堂において行われた。レオクマタロウハタケヤマ氏が、アレクサンダーベルオース司教(MEP)に宛てた手紙の結果だった。彼は日本語を話す司祭がまわりにいないため、手紙で告解ができないかをたずねたのであった。その結果カリフォルニアにいる日本人のために、函館にいたブレトン神父がベルリオース司教(MEP)によって派遣された。これによってアメリカにいる日本人のための宣教がささやかに開始されたのであった。



当時ロサンゼルス的人口は30万人、そのうち1万人が日本人であった。ブレトン神父は応援を依頼し、1915年8人の女性たちが長崎から応援のために訪れた。これが今の禅宗寺の場所から程遠くない133 South Hewitt 通りに場所を構えた聖フランシスコザビエル教会の前身である。活動が広がるにつれ、ボイル通りに日本人孤児のための家、1920年に到着したメリノール修道会の建物も建てられた。



1941年12月7日日本軍によりハワイの真珠湾が爆撃されると、日系人たちは今までの犠牲や努力が無に帰するかのごとくの悲運に遭遇した。戦慄がアメリカ中を襲い、1942年アメリカ政府は何千人もの日本人を強制収容所へ送りこんだ。その中でメリノール会の司祭、修道士、修道女は慰めと癒しを与えるために働いた。西海岸のメリノール会の活動は危険視され、さらに11万人もの人々が別の場所へと収容されることになったが、戦争が終わると日本人は元の

地に戻り始め、ヒューラブリー神父はそれらの人々を歓迎した。

1990年代に、教会に付属したメリノールスクールは学校としての使命を終えたが、先人の意思を大切にするために、教会の代表委員たちはロサンゼルス大司教区に対して、日系社会全般、そして日本語と英語を話す人々のための司牧のための施設として、メリノール日系カトリックセンター(MJCC)の維持を依頼した。大司教区はその依頼を幸運にも受諾してくれた。ここに学校は閉鎖されたが、新しい使命を担うセンターが存続することになった。

現在の主任司祭は、イエズス会のドアン・ホアンS.J.神父様で、毎週日曜日日本語と英語でミサが捧げられている。



ミッション・ステートメント

私達はキリストの共同体として、聖霊に力づけられ、主イエスの福音を言葉と行いを通して人々に述べ伝える。そして、共同体として相互に依存し助け合いながら、聖性に勤め、近隣のすべての人々のため、そして特に日本人カトリック信者のために奉仕の業を行う。



キリスト教に関心のある方、カリフォルニアの日系人の歴史を知りたい方、駐在、留学、観光などでロサンゼルスにお越しの方、日本語でお話したい方、どなたでもどうぞお気軽にお越しください。

+ミサのご案内

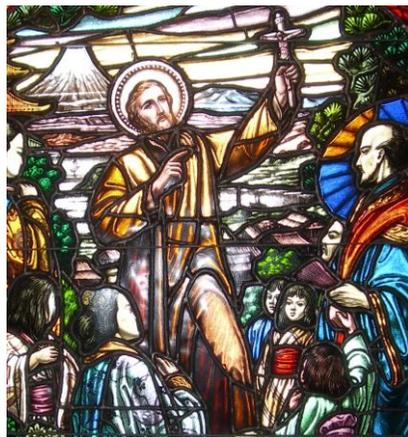
土曜日：午後5時（英語）

日曜日：午前8時半（日本語）

午前10時（英語）

平日（火曜日を除く）：正午（英語）

平日と祭日のミサのスケジュールについては、事務室にお問い合わせください。



聖フランシスコ・ザビエル教会

日系カトリックセンター

222 S. Hewitt Street, Los Angeles, CA 90012

(213) 626-2279

info@sfxcjcc.org

www.sfxcjcc.org



聖フランシスコ・ザビエル教会

日系カトリックセンター

ST. FRANCIS XAVIER CHAPEL

JAPANESE CATHOLIC CENTER



聖フランシスコ・ザビエル教会日系カトリックセンターは、アメリカ合衆国において唯一の日系カトリック教会です。